

ふれあいと語らいの同窓会



東京実業同窓会報 NO.14

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481 東京実業高校同窓会編集委員

新年度を迎えて

同窓会の皆様および理事長、校長、教職員の皆様方には大変お世話になっております。さて、昨年11月1日に我が東京実業高等学校も創立80周年を迎え、ますます繁栄しております。

私ども同窓会も昭和3年初代会長、山田千太郎氏が音頭を取りスタートしたと聞いております。その後、諸先輩の皆さまのご尽力により、75年の歳月が過ぎてまいりました。私も2期4年間、副会長並びに常任幹事の皆様に助けられ、微力ながら務めさせていただき、ありがとうございました。



第23期 会長 山本徳太郎

尚、今年度の新年会は、親師会、桜美会、同窓会が合同で「品川パシフィックホテル東京」にて、盛大に行なわれ、有意義な時を過ごしましたが、まだまだ卒業生で同窓会が年間いろいろな行事を行なっていることを知らない人達が多いと思います。

大変厳しい状況の世の中ですが、今後も副会長、常任幹事他、若い人達が同窓会をアピールし、今以上に盛り上げていただきたいと思います。

最後に、学校の繁栄と共に同窓会の発展を祈念し、新年度の挨拶とさせていただきます。



平成14年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会 2002.6.8 プラザ・アペア

創立八十周年を終え



理事長 上野 雅子

2002年11月1日東京実業高校の創立八十周年記念式典及び祝賀会が、学校の体育館で行われました。十年前、世の中はバブル景気に浮かれて、随分と気前良く皆が無駄な浪費をしていました。私が理事長職に就いて四年目に七十周年を祝いましたが、まだ未熟な若輩者でしたので、当時企画して下さった多くの方々の助けを借りて盛大に行われたことを懐かしく思い出しました。十年後、世の中は何と変わったことでしょうか。全ての価値観が覆えされ、銀行さえも倒産という事態は当時考えてもいないことでした。大手企業の倒産、リストラ、給与カット等々日本全体が暗い時代を迎えています。確かに歴史というものは良い時代もあれば悪い時代もあり、そのくり返して脈々と続いていきます。そう思えば今の時代も耐える期間ということ、今迄辛抱しなかった分辛抱しなければならないのかもしれないかもしれません。

そんな時代の中での創立八十周年ということで、今回は生徒中心、在校生父母中心として校内で祝いましょうと“東実祭”にぶつけて行いました。急に冷え込んでき

た中、多くの方々が出席して下さい、和気あいあいの中でゆっくりと懇談していただけて、ほっと致しました。中学校の先生方も大田区に限り、いつも東京実業高校をバックアップして下さいる校長先生方が出席して下さいました。同窓生、卒業生の父母会の方、在校生の父母の方々もそれぞれにゆっくりお話したり、食事を楽しんでいただけたようです。日頃なかなか学校を訪れる機会のない方には、こういう会を学校で行えば現在の様子も分かるので嬉しかったという意見も多く、有難いお言葉と感謝しております。また、記念誌は堅苦しい文字の多いものはやめて、10年間を中心にした写真集のようなものが生徒も見てくれるのではないかとということでとても楽しく見られるものとなっております。昭和初期位ですとても懐かしく見て下さった同窓生もいらして大変好評でした。今回は内輪にするということで限られた方々しか御出席いただけませんでしたが、ご希望の方がいらっしゃいましたらご一報下さい。数に限りはありますが、差し上げられますので御覧いただければ幸いです。



「創立記念日」について



学校長 上野 毅

本校は、2002年11月3日をもって創立80周年を迎えた。本校の現在の創立記念日は、6月10日になっているのはなぜか。井上稔前校長の話では、次のような経緯があったようである。

今から82年前の1921年（大正10年）11月3日、当時、東京中学のあった神田・西小川町近くの蕎麦屋の2階に上野熊蔵をはじめ東京中学の主だった教員が集まった。

普通教科を教える中学が大多数を占める当時の状況の中で、学校を卒業して、すぐにでも実力を発揮出来る実業学校が必要とされている。ということが、当時の東京中学の校長であった上野清に承諾された。具体的に翌年の大正11年4月開校に向けて、校舎のやりくりや人事をどうするか等がそこで話合われた。以降、11月3日が創立記念日となり、その日に記念式典を行い、永く学校の為に尽くされた教職員の方々の永年勤続表彰も、この式典の中で行ってきた。

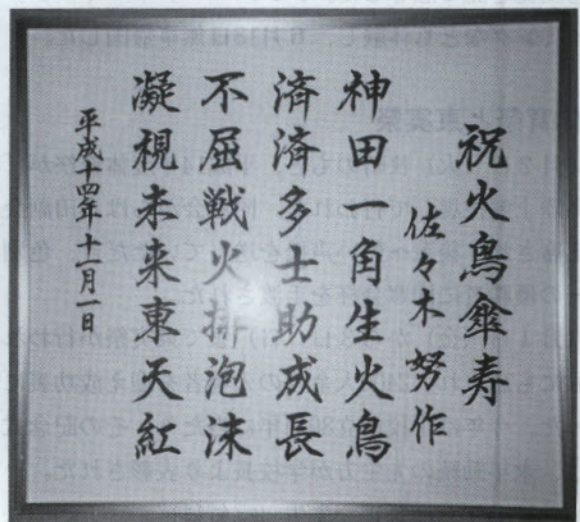
その後、11月3日が昭和何年かに文化の日に制定された。学校創立記念日はお休みに出来るという法律があるため、一日祝日を増やそうと考え、6月10日に記念日を移したということだ。今は国民の祝日がやたらと増え、土曜日まで休みになり、勉強時間も減ったという指摘も

多い。今は昔のように11月3日に創立記念日に戻し、一日でも多く勉強時間を取り戻した方が良いのではないか、と思うこの頃である。この話は私の独り言であるが、ともあれ、11月3日前日の東実祭の初日に記念式典を行っている。さて、今年の80周年式典の時、皆様にお配りした80周年写真集『日々生き生きと』を一読すると、80周年の学校の歴史、そこに集い学んだ生徒達の思いが走馬燈のようにかけめぐる。まさにドキメンタリー映画を見るようである。一人ひとりの顔に人生が表れているようである。大きな流れの中に、学校の伝統が見えて来るようである。私立学校で勉強する生徒諸君には、いわゆる一つの大きな伝統を担っているということが感ぜられる。

東京実業高校で学んだのだという誇りを持って、高校生活を送っていることがよくわる。また、私学で教える先生方にも大きな伝統を担っているのだという気概を持ってやっっていることがよくわかる。この写真集の最後の章が第5章「未来に向けて」2001～2002として在校生のページになっている。これから21世紀にはばたく在校生が新しく伝統を創り出して行く事を期待して、ご挨拶とさせていただきます。



80周年記念祝賀会



— 80周年を祝して —

学校の近況報告



副校長 嘉戸 直民

■第77期生として468名巣立つ

3月3日(日)平成13年度の卒業証書授与式が行われた。今年度の卒業生は、機械科166名、電気科76名、商業科151名、普通科75名の合計468名が晴れの卒業証書を手にし、第77期生として巣立って行った。卒業生の進路は就職89名、専門学校132名、大学126名、家業その他121名である。

■579名の新入生を迎える

4月9日(火)平成14年度の入学式が行われた。普通科文理コース85名(女子27名)、普通科ビジネスコース255名(女子74名)、機械科148名、電気科91名の合計579名が入学した。平成13年度より普通科の募集を男女共学として2年目を迎えた結果、ビジネスコースが定員を上回る生徒が入学した。

■交換留学生ポルダ―へ

5月4日(土)生徒8名が小野博司先生に引率されて渡米した。数多くの希望者から男子6名、女子2名が選ばれた。滞在中は各姉妹校を訪問して授業に参加した。

特に日本語のクラスでは、難しい日本語に真剣に取り組む生徒を見て感心した。ダンスパーティーやロッククライミングなども体験し、6月18日無事帰国した。

■体育祭と東実祭

10月2日(火)快晴のもと、平成14年度体育祭が「夢の島陸上競技場」で行われた。同窓会からは本田副会長が出席され、後輩へ熱い声援を送っていただき、色別リレーの優勝者に同窓会杯を手渡された。

11月1日(金)から3日(日)まで東実祭が行われ、天候にも恵まれ、2400人余りの入場者を迎え成功裏に終わった。今年は学校創立80周年に当たり、その記念式典では、永年勤続の先生方が学校長より表彰された。

- ・勤続30年・横幕正一先生(電気科)
- ・勤続20年・須賀寛光先生(電気科)、増田修一先生(機械科)
- ・勤続10年・岡田求先生(英語科)、関根勝先生(数学

科)

■学校創立80周年記念祝賀会開かれる

11月1日(金)80周年祝賀会が本校の体育館で開かれた。社会情勢を考慮して同窓会、親師会の代表に出席していただき、内輪だけの祝宴とした。

■クラブ活動

・吹奏学部日本一に輝く

1月29日、日本武道館で行われた全国大会小編成の部で念願の日本一に輝いた。

・野球部ベスト8進出

夏の東京大会でベスト8に勝ち進み、ベスト4を目指すも修徳に惜敗

・インターハイ優勝

陸上部・普通科3年佐野正人君(走高跳び優勝)

機械科2年児島大祐君(5000m競歩)

普通科3年宮島智也君(1500m)

商業科3年武藤太一君(800m)

・よさこい国体出場

陸上部・普通科2年児島大祐君(5000m競歩2位)

普通科3年佐野正人君(走高跳び8位)

■山中湖学寮完成

山中湖学寮の建替工事が10月竣工した。東京実業が学寮として取得してより約20年が経過し、老朽化が進み、建替を余儀なくされました。新しい学寮は12の宿泊室が設けられ、生徒50名が一度に利用出来ます。

■職員の異動

・新任教職員

商業科……佐藤結香先生

事務……北村美佐紀さん

・退職教職員

数学科……大津健二郎先生

商業科……山口敏雄先生

事務……米田仁昌さん

■訃報

9月30日、商業科の有田幹雄先生が急逝されました。先生は本校に奉職と同時に吹奏楽部を創部し、これまでに全国大会で2度も日本一に導いた。享年47歳。これからの活躍が期待されただけに、残念でなりません。心より先生のご冥福をお祈りいたします。

機械科報告

同窓会の皆様、こんにちは

副科長 川谷 貴洋

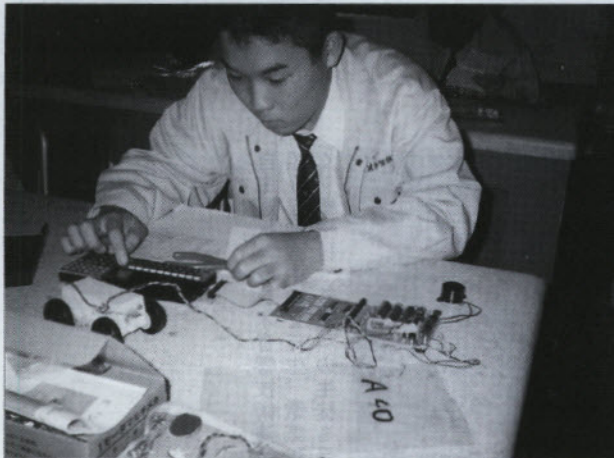
科長 増田 修一



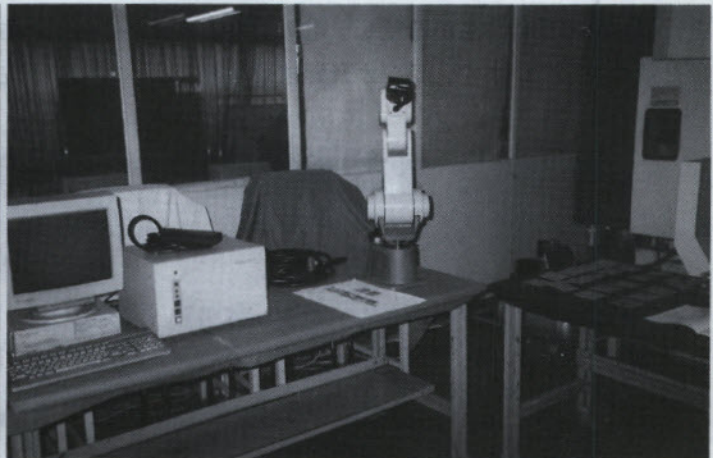
平成14年度の機械科は3学年合計9クラスでスタートしました。1学年では工学系の基礎知識の充実。2学年では各種資格の取得（ガス・アーク溶接、フォークリフト、クレーン玉掛け、有機溶剤、特定化学物質等）。

3学年では各個人の進路にあった細かな指導に重点をおき、充実した高校生活を送れるよう教員一同努力しています。各学年共いろいろなものを作ることによって、それに興味を持たせ、必要な知識を習得させることを目指しております。今年新たに自由選択で計算技術検定・情報技術検定の資格取得のための講座とNC旋盤のロボット制御・電子工作の実習系の講座を開き、機械科以外の生徒も受講出来るようになりました。9月に行われ

た体験入学ではマシニングセンタで参加生徒のネームプレートを作成しました。また11月の東実祭では、機械科「ものづくり展」を開き1年生から3年生までの作品の展示、CADの実演、アームロボットの運転、マシニングセンタの実演等を行いました。私たち教員一同、機械科を卒業した生徒たちが将来立派な社会人として活躍してもらうことを期待しております。今回は「ものづくり展」会場の模様と自由選択授業風景（電子工作）を写真で紹介させていただきます。同窓会の皆様には今後もお世話になることも多いと思いますが、よろしくお願い申し上げます。



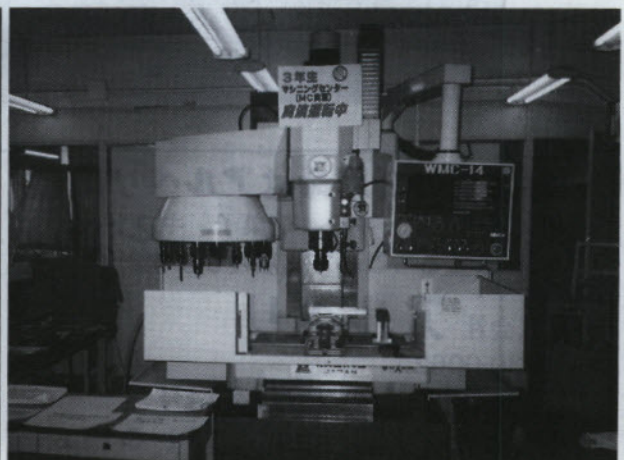
自由選択授業風景 2年生電子工作



「ものづくり展」 3年生ロボット実習



「ものづくり展」 3年生応用工作
スターリングエンジンの製作



「ものづくり展」 3年生MC実習
ネームプレートの製作

電気科報告

電気科より



科長 長谷川 浩

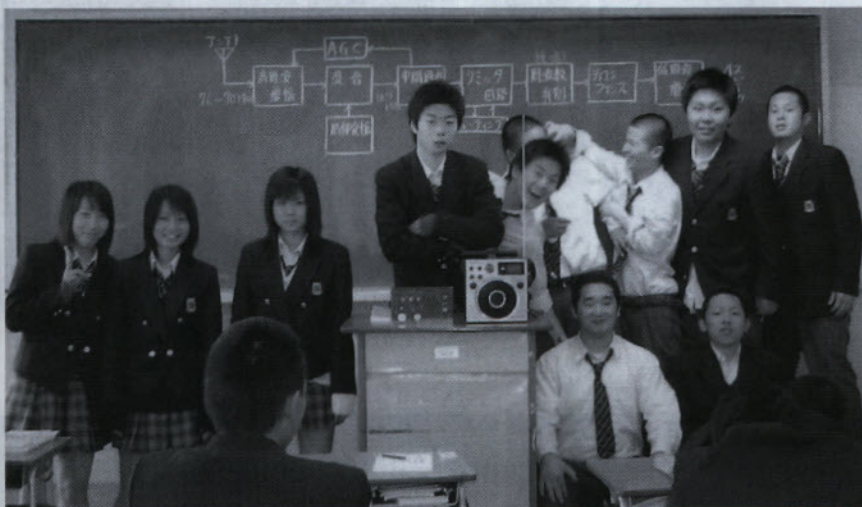
同窓生の皆さん、こんにちは。既にご存知のように、平成13年度より本校は、男女共学になっております（と言っても電気科は男子生徒のみですが）。また、カリキュラムも変更になり、2・3年次では自由選択科目が新設され、科（コース）を越えた科目の選択が出来るようになりました。つまり、電気科の生徒でも自由選択の授業では、機械科や普通科ビジネスコース（元の商業科）の科目を選択することが可能となったのです。

当然、その逆も可能で、機械科やビジネスの生徒が電気科の科目を選ぶことも出来るようになりました。

今年度、2年生の自由選択科目として電気科では「電気工事技術演習」と「ラジオ音響技術演習」の2講座を開講しました。電気工事技術演習には電気科の生徒32名と、機械科の生徒13名が希望し、電気工事士の資格に向けた勉強をしています。ラジオ音響技術演習では、電気

科の生徒14名の他、機械科の生徒3名とビジネスの生徒5名（男子2名、女子3名）が、検定試験に向けて努力しています。電気科の生徒（私自身も）は、女子の生徒と一緒に授業を受けることに最初は緊張感みでしたが、直ぐに馴染んで？クラス内と変わらない明るさを発揮しています。また、来年度は3年次の自由選択として、「上級電気技術演習」、「ポケコン技術演習」、「デジタル技術演習」の3科目を開講予定でしたが、「上級電気技術演習」は希望者が少なかった為、残念ながら開講することができませんでした。

なお、本校に長年奉職され電気科を築かれた佐藤節夫先生と嘉戸直民先生が今年度で定年を迎えられ、ご勇退されます。電気科の教員は横幕先生・小椋先生・須賀先生・私（長谷川）、実習担当の馬場先生・深川先生・小峰先生の計7名と寂しくなっていました。



自由選択（ラジオ音響技術演習）で、ラジオの仕組みを勉強中の2年生。電気科の生徒だけではなく、機械科や普通科の生徒も受講している。

お菓子のご用命はアルベリに
和洋菓子、クッキー、焼菓子、ギフトetc
まごころこめてお届けします。

株式会社 **アルベリ**

〒230-0062

横浜市鶴見区豊岡町7番14号

TEL:045-581-5441

FAX:045-573-6116

http://www.alberi.co.jp

第23期 山本 徳太郎

オーダーメイド専門

企画から製品まで（多少なりとも製作します）

ファイル・バインダー・表示板・掲示板・黒板・ディスプレイ紙・ビニール・プラスチック・金属・ゴム・繊維・木製品 その他

米軍、銀行、航空、船舶、外国商社等納入

企画・製作

株式会社 **伊藤商店**

FAX(03)3241-1439

東京都中央区日本橋本石町4-2-2 〒103-0021

第18期 伊藤 勝啓

普通科報告

文理コース



科長 三山 大弘

昨年の会報でご報告しました通り、普通科は男女共学になりました。本年度の在籍数は、3年生男子77名、2年生男子65名、女子24名、1年生男子58名、女子27名となっております。また、2年生は、8名がビジネスから文理へ、1名が文理からビジネスへ転コースをいたしました。進路については、殆どの生徒が進学を希望しています。特に、大学進学においては、最近、入学試験が多様化（AO、自己推薦、指定校等）し、一般入試のような試験を行うところが減ってきました。その為、2学期中に半数以上の生徒の進学が決まり、その結果として入試に対する生徒の考え方の変化が見うけられます。

本年度より自由選択が実施されましたが、教科によって内容の理解不足により苦勞している生徒がいましたので、来年度の為に十分説明を行いました。普通科設置以来、学習合宿を実施してきましたが、当初と今日ではギャップが生じている為、合宿のあり方を再検討し、より良い形で実施する予定です。中学校での総合学習の一環として中学校と高校での交流が行われ、本年度は、数学科の関根章道先生が中学校で出張授業をされ、大変好評をえられました。

最後に、長い間本校の発展に貢献されました数学科の中野義久先生、疋田伸汎先生、英語科の岡田求先生が退職されます。先生方のご健康とご活躍をお祈り致します。より良い文理コースを目指し、今後とも同窓生の皆様のご指導とご協力を宜しくお願い致します。



ノートパソコンの実習

2年目を迎えた
ビジネスコース

科長 小畑 雅一

商業科が普通科ビジネスコースに変わって2年目を迎えました。現在の3年生が今年3月に卒業すると、長年の伝統を誇った商業科も完全に姿を消すことになり、一抹の寂しさを禁じ得ません。しかし、ビジネスコースとして新たな出発を成し遂げた商業科は、現在その定員(180名)を大きく越え、1年生248人(うち女子72人)、2年生319人(うち女子69人)とかつて無いほどの生徒を受入れ、東実の中心として頑張っています。生徒たちも日々明るい学校生活を謳歌し、積極的に学習や部活動に取り組んでいます。ビジネスコースとなってコンピュータ関連の科目が増えたこともあり、今年度初めには特別教室の実践室にも新型ノートパソコンを48台導入し、またワープロ室のワープロ専用機もすべて新型パソコンに一新しました。今後は従来からある会計の学習に加え、ますます情報処理関係の教科内容の充実に取り組んでいこうと考えています。

最後に、訃報をお知らせします。長年本校商業科の教員として、またプラスバンド部の顧問として活躍されてきた有田幹雄先生が、昨年9月30日に心不全のため急逝されました。享年47歳でした。有田先生は日頃より大きな体で常に生徒たちを叱咤激励し、その感化を受けた卒業生の皆さんも多いことと思います。日を置かず執り行われた通夜・告別式にも多くの卒業生の皆さんが参列し、その功績を称えると共に別れを惜しみました。ここに心より有田幹雄先生のご冥福をお祈り致します。



ノートパソコンの実習

東実生徒の一員として…

(生徒会活動報告)



生徒会会長 鈴木 亮太

私たち生徒会執行部は14人で、学校の代表として、日々努力をして活動しています。

現在の主な活動内容として、生徒会執行部は3つの班に分かれています。まずは、月に1～2回生徒会広報誌「菩提樹～Together～」を発行する広報部、他校の生徒会（学校）との交流を深めるための橋渡しとなる渉外部（現在は、姉妹校である東京高等学校を中心に）、また渉外部は今年度初の試みである「生徒会誌」作成の責任者でもあります。そして昨年度までは生徒会費より各部一人あたり1000円を補助していた「三年生を送る会」ですが、これもまた初の試みで、今年度より、三年生全員を送る！ということを目指し、催し物を行うことに

なりました。その企画と運営を行う、「三年生を送る会」企画部、以上の3つです。その他に、行事（生徒総会・体育祭・文化祭・新入生歓迎会など）の企画・運営、会議の進行、入学試験の手伝いなどを行っています。私たちはいつも「みんなで作る生徒会執行部」というテーマのもとに活動しています。

そして先生方から指導を受けるだけでなく、「生徒の手による、東京実業高等学校を創ること」を目指しています。そしてどんな少数意見だとしても、その意見を勇氣を持って尊重できるような環境をつくりたいと思っています。

平成14年度(第78期)卒業同窓会幹事名簿

平成15年3月卒業のクラス別同窓会幹事を紹介いたします。

| クラス | 担任 | 各クラス2名 |
|-----|------|------------|
| M・A | 河野先生 | 酒井秀一・中村淳一 |
| B | 井上先生 | ○齊藤了・酒井友也 |
| C | 志賀先生 | 早尾淳・福田雄司 |
| E・A | 岩田先生 | ○佐藤貴士・笹谷裕介 |
| B | 横幕先生 | 大井川至・塚田晴彦 |
| C・A | 原田先生 | 小俣健二・鈴木悠 |
| B | 上原先生 | 川井亮一・熊川茂樹 |
| C | 小島先生 | ◎小澤武・伊藤瞬 |
| D | 田中先生 | 小川竜也・眞壁光明 |
| O・A | 小野先生 | 今井真人・當麻元晴 |
| B | 藤吉先生 | ○中嶋哲也・巻山洋平 |

注：◎代表幹事 ○副代表幹事
学年主任 = 知念 先生

○78期卒全員が
5年後に体育館に集合する事をちかい合って卒業いたします。

「久々にクラスメートに逢いたいナ」と思ったら、担任又は上記クラス幹事に、ご連絡下さい。連絡先は、卒業時にお配りした同窓会幹事名簿をご覧ください。

祝80周年 34期卒女子商業科

楽しい室内空間作りのお手伝い

インテリア 遠藤商店

〒146-0085 東京都大田区久が原3-34-12
TEL (03)3752-3027 FAX (03)3752-3359

第22期 遠藤 孝一

総合印刷

シンセイ印刷株式会社

〒142-0052 東京都品川区東中延2-4-2
電話03(3784)3565(代) FAX03(3784)3567

同窓会近況報告

平成13年度 収支決算報告書

自 平成13年4月1日
至 平成14年3月31日

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|--------|------------|------------|--------|------------|------------|
| 科目 | 13年度予算 | 13年度決算 | 科目 | 13年度予算 | 13年度決算 |
| 前年度繰越金 | 5,431,701 | 5,431,701 | 事務消耗品費 | 400,000 | 127,487 |
| 終身会費 | 4,600,000 | 4,690,000 | 通信連絡費 | 300,000 | 319,150 |
| 寄付金 | 100,000 | 227,700 | 印刷費 | 300,000 | 4,500 |
| 広告費 | 60,000 | 88,000 | 会議費 | 600,000 | 574,079 |
| 総会会費 | 300,000 | 258,000 | 総会費 | 700,000 | 447,288 |
| 旅行会費 | 1,000,000 | 960,000 | 旅行費 | 1,200,000 | 1,133,48 |
| 新年会会費 | 1,000,000 | 684,000 | 新年会費 | 1,200,000 | 906,024 |
| 受取利息 | 1,299 | 595 | 慶弔費 | 200,000 | 286,496 |
| 雑収入 | 0 | 200,000 | 卒業記念品費 | 350,000 | 355,320 |
| | | | 助成費 | 300,000 | 27,971 |
| | | | 会報発行費 | 500,000 | 596,175 |
| | | | 積立金 | 4,000,000 | 4,000,000 |
| | | | 予備費 | 300,000 | 285,964 |
| | | | 次年度繰越金 | 2,143,000 | 3,476,057 |
| 合計 | 12,493,000 | 12,539,996 | 合計 | 12,493,000 | 12,539,996 |

平成13年年度の収支報告書を監査致しました。
その結果適正且つ妥当であることを認めます。

平成14年5月15日

会計監査 小宮 龍雄 印
小島 浩 印

学校法人 上野塾 東京実業高等学校 殿

新山中湖学寮の落成と創立80周年を記念して
食堂用テーブル 9卓
食堂用椅子 54脚
を寄贈致します。

平成14年10月吉日

東京実業高等学校同窓会

— 同窓会寄贈 —



平成14年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会 2002.6.8 プラザ・アペア

平成14年度 同窓会事業計画

■総務委員会『総会・会報・企画・組織・総務全般』

事業委員会『新年会・旅行会・どら焼き販売等に関する事。含む周年行事等』

○総務

◎常任幹事会開催の準備等

○懇親旅行会第20回目を計画

◎各卒業の幹事の方へ同窓会参加への呼びかけの強化

日時：平成14年9月7日(土)～8日(日)
行先：伊豆熱川温泉「熱川グリーンホテル粹光」

◎総会準備

会費：一律30,000円 バス1台の人数を予定

日時：平成14年6月8日(土) 17時～20時

会場：「プラザ・アペア」懇親会(会費3,000円)

○新年会

親師会、同窓会、桜美会、合同新年会開催

◎当会に必要なと思われる会・行事への参加

日時：平成15年1月25日(土)

○会計

会場：ホテルパシフィック東京(JR品川駅前)

◎会計に関する総括

会費：8,000円

○企画

○母校80周年記念に参加

◎同窓会会報誌第14号発行予定

○東実祭に参加「どら焼き」の販売実施

◎会則に関する事等

○組織

○その他の事業に関する事項等

◎卒業生名簿の整理

◎各委員会の要請により名簿の提出・整理

事務局 「事務全般」



平成十三年同窓会
平成十四年一月二十六日
於 ホテル・パシフィック 新年会



定期総会

幸 山 氏 様

平成14年度の同窓会定期総会が6月8日(土)17時～会場を蒲田南口「プラザ・アペア」に於いて行われました。今年度は常任幹事全員が引き続き留任という事で、承認いただきました。

長い間同窓会事務局を一手に、同窓会のいき辞典とまで言われた米田さんが定年を迎えられ、今後は同窓会相談役として推選、承認されました。

総会にはいつも大勢の方々のご出席を賜り、又平成に入ってから若い卒業生の参加も年々目立ちこれからの同窓会の大きな力となって下さる事でおおいに期待いたす所です。今後共会員の皆様のお力添をお願い申し上げます。(H.I)

同窓会旅行



第17期 岡田 七郎

私は今年喜寿を迎え足腰に多少の不安を感じるが、頑張って同窓会旅行の参加を続けたいと思つて居る。前夜の雨が残り雨中での出発となる。霧雨煙る東名道をバスは大井松田ICに向かって直走る。アサヒビール神奈川工場で工場見学、試飲後別棟で食事をとり芦ノ湖へ。波静かな湖上を船がすべる様に進み箱根園に着く。眺望が売り物の伊豆スカイラインも視界がゼロでは外は何も見えないが、車中ではカラオケで盛り上がり居る。旅館に到着、踊り有り、歌有り、福引有りで2時間半の宴会時間もあつと云う間に過ぎ去り、夜は更けていった。翌早朝、湯槽に身を沈めると心持よく目が覚める。浜辺に打ち寄せる小波の彼方には日が昇つて居る。今日は晴天だ、新鮮な刺身付の豪華な朝食は久しぶり、出発と同時に既に宴会が始まって居る。有名な浄蓮の滝では既にこの地を訪れた人が多く茶屋で休息する者が殆んど、ループ橋を渡り天城を越え、大仁洋らんセンターで昼食をとる。巨木に囲まれ閑散とした三島大社に帰りの無事を願い参拝。夫々のお土産物を沼津で買い求め、左に富士を望み乍ら、東名高速道を帰路についた。



三嶋大社にて



ビール工場にて

東京実業高校創立 80周年を祝して

福子 田岡 敬江

城南の空明け渡る。方円をなす理想のもこの地に産声をあげる。時、昭和11年。蒲田駅を中心に商店街、工業地域、住宅地、西は六郷川を経て川崎方面、まさにデルタ地区である。そして、蒲田行進曲、松竹撮影所の面影を残す近代的な華麗でモダンな町並。第17期風雲急を告ぐる昭和12年より17年の5年にわたる歳月を過ごす。過ぎ去った60年前の在学中の思い出など記憶をたどりながら綴らせて頂きます。

(1) 校外でのピックアップ。

卒業生の月田一郎氏は現在の女優、山田五十鈴の夫君？本当かな？(本当)

(2) 楽しかった思い出。

松竹の大女優、水戸光子、坪内美子、通学途中ですれ違う。美形、その日はなんとなく楽しい。

(3) 赤風車洋菓子店のこと。

蒲田駅より学校へ行く途中に在り。人間の様な人形の手の平に、その日のお奨め洋菓子をお載せ宣伝していた。横浜方面からの不良学生、あたかも当たり前のようにその菓子を持ち逃げ。店の経営者、見て見ぬ振り、太っ腹。心あたたかい。

校内での当時の様子を紹介します。ユニークな先生方の敬称を略してニックネームでお話します。

(1) ジンタ。(英文法の先生)

カイゼル髭を蓄えた明治の元老の様な風貌。仁



第17期 長山 幸作

丹の商標画に類似。

(2) カメレオン。(珠算の先生・一ツ橋大卒)

極度の近眼(コーラ瓶の底)。授業中、生徒があくびをするとカメレオン、教壇より飛び降り、愛用のソロバンで生徒の頭をバシッとたたく。九州男児を馬鹿にするのかといい・・・。ソロバンの玉は教室中に散らばる。生徒、散らばった玉をはいまわり拾う。そして謝罪。円満解決。

(3) 蝶ネクタイ(英会話の先生)と物理の先生との論争。

蝶ネクタイ曰く、パンの原料はメリケンコ。ウドン、ソバの原料はウドンコ。物理の先生「馬鹿云うな、パンもウドンも原料は同じ、呼び名が違うだけ」。けだし、迷論争。

在学中の5年間、先輩・後輩、そして同級生仲間の友情。思えば凝縮された青春でした。やがて卒業、進学、社会人、又は家業に従事など、それぞれ夢を持って巣立ちました。そして、62年の歳月が流れ各年度の卒業生が立派な社会人となり、この様な充実した同窓会を設立し、現在に至って居り、役員及び会員の皆様にご心より敬意を表します。最後になりましたが学校関係の方々のご努力に感謝するとともに、今後益々のご健闘をお祈りします。

我が母校東京実業高校は永遠なり。栄光あれ。

めっき材料総合商社

株式会社 三 松

本社 東京都大田区西蒲田7-57-11
〒144-0051 TEL.(03)3733-7131 (代)
営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45
〒251-0047 TEL.(0466)34-1711 (代)

第17期 村松 演代

より良いオフィスを提案する！
広がる夢オフィス kikuya-net

菊屋浦上商事株式会社

〒144-0051
東京都大田区西蒲田7-45-8
TEL.(03)3737-1551 FAX(03)3737-1558
<http://www.kikuya-net.co.jp>
E-mail:tokyo@kikuya-net.co.jp

代表取締役 浦上 喜久二

とくじっかい
19期「十九実会」
同期会のご報告

夫武 木青 誠一郎

第19期 吉原 和富



平成14年5月13日、東実19期同窓生の（恩師鷹野宗太郎先生が命名）の26人が8年ぶりに同期会を開催しました。卒業以来58年が経過して、当時165人が卒業し、各地各所に散り、戦争、空襲被災、敗戦と戦後の混乱の中で、それぞれ懸命に生きて、現在63人が生存確認の状況です。

8年間の空白を埋めて再び同期生の元気な姿を見るため、本年2月、63人全員に同期会開催希望の有無のアンケートを実施したところ、圧倒的に開催希望が多く寄せられたので、このたびの同期会が実現しました。当日は上野雅子理事長（上野熊蔵校長の孫）、上野毅校長、三科六郎教官、沢田正一教諭の四方のご臨席を仰ぎ、旧懐談に花が咲き、時の経つのを忘れた次第です。いずれの同期生も年令は75歳を過ぎておりますが、どこか当時の面影を残して

おりました。本人の病気や家族の介護、或いは遠方（例えば九州など）で出席できない残念な同期諸君には記念写真と新名簿を送りました。

尚、当日は同窓会事務局から「同窓会報」第13号を出席者全員に頂きました。有難うございました。



平成14年5月13日 十九実会同窓会総会 川崎グランドホテル

25期「章幸会」開催
同期会のご報告

第25期 吉村 和重
 （章幸会幹事）



平成14年度「章幸会」を3月23日鶴見パークレーンホテルで開催した。今年は常連組に一部入替わって卒業後初参加者も加わり、ロビーで逢っても見間違えるお粗末もあったが昔話に盛り上がり、楽しい一刻を過ごした。席上、恩師・故宮本先生の三回忌に当たり、在校中、又卒業後も公私共にご厚情頂いたことに感謝し、「章幸会」有志として献花をさせて頂くこととなった。会員諸兄の協力を要請した結果、卒業後50年余を経過した今も有志者によるお志が10万円程集まり、改めて生前の先生の人徳の深さを知らされた次第です。早速岡山県在住のご親族にお願いし、墓前にお供えさせて頂きました。



田園から戦火をのり越えて 大森と合併して大田区となる

第16期 青木 茂夫



昭和5、6年頃私の家から大森駅を発車した電車の灯りが見えた。急いで「大城通り」を蒲田駅に父を迎えに行く。途中で会うか、次の電車を待つか、その時による。当時は次の電車がなかなか来ない。やっと蒲田止まりが来た。今度は乗っているぞと胸をふくらませる。

駅員が駆け寄って外から取手ははずしてドアを開ける。自動ドアは一輛にだけついている。跨線橋を渡る人は疎らですぐ見つかる。板造りの渡り廊下と階段。ガタ、ガタンガタンと音がして降りてくる下駄の人が多く、音も今とは違う。駅前には人力車が2台位客待ちをしている。和服の人が多い時代だ、呉服屋と下駄屋で賑っていた。駅前の市場は真ん中が通路で両方に店が並んでいる。八百屋、魚屋、菓子屋その他にも、店が並んでいる。バナナ、パイナップル、又カステラ、チョコレート等は病気にでもならなければ口に入らない。今の人は何でも食える、肥る訳だ。駅の道路はコンクリートであるが商店街を通り抜けると田舎道となる。砂利が敷いてあるのはいい方で雨でも降ったら大変な道となる。駅から家までも同じで、夜は真暗である。それに途中墓地があって樹の上からフクロウが鳴いている、真に怖かった。今は塀で見えない。私の家は蓮沼の一番端で内外編物会社の近くだ。すぐ「堤方」になる。東京府荏原郡矢口町蓮沼

だ。従って学校は矢口東尋常小学校だ。遠かった。名前の通り蓮の生えた沼(池)が多くあった。親の注意は沼に近寄るな、落ちると沁って上がれなくなるからと、こんな注意をよく聞いた。その頃自動車などは、こんな田舎には来ない。蒲田は関東大震災以後目をつけられたのだ。今の建売と同じ「文化住宅」と名付けて随分建ちだした。東に省線(JR)の灯り、西に箱根連山から富士山が見えていたがいつの間にか見えなくなった。ヨイト巻の小母さん達が威勢よく唄いながらドカン、ドカンと打ち込んでいた。夕方にはコウモリが飛び交い人を舐めるように頭の近くまで舞い下りてくる。トンボ、バッタ、イナゴ、カマキリ色々な昆虫がいた。勿論蛇、トカゲ等は、私の大嫌いなものだ。夕空に高く渡り鳥が雁行して何処かへ行く。寂しいもんだ。家の前の流れには水草が生えて、小魚が泳いでいる。矢口東の高学年になった或る日曜、三嶋ヶ原に野球を見に行った。各会社のリーグ戦のグラウンドだ。彼方を見ると木組みの大きな建築中の建物があった。何だか分からない。翌日先生に聞いたら「東実」だという。丁度募集をはじめから入れと言う。私の人生これで決まった。昭和11年4月東実の一年生になった。金釦に長ズボン、靴、靴、帽子全部新品。矢口東は第6回卒「やどろく会」と称して今も続いている。

方円会の事務簡素化 定連の減少の将来のために

6月8日(土)晴29度恒例の方円会が翠華楼に理事長出席のもとに開かれた。私は療養中にて、ただ記念写真だけと、ちょっと顔を出した。皆さん馴染みの顔で相当賑かであった。本会で小宮から見出しの件について、箇条書きのような議題が出された。

- ①少人数なら何処でもできる。
 - ②会費は会の終了後の割勘とする。
 - ③開催日は6月第3土曜日とする。
- 上記の件、皆何となくO.Kした。



鷹野先生と漢文



第17期 佐々木 努
(逝去)

私達は鷹野先生に商業作文と漢文の講義を受けた。他の先生からも教わったが、鷹野先生が一番懐かしく、キンキンとした甲高い声が、今もって耳に残っている。

最近、私は「わが生涯の山月記」という漢詩を作った。「学友兩名科挙に任じ、刻苦精勵名声を上げ、聖人賢人病魔に斃れ、猛虎嘘しく巨岩に吃哮す」「山月記」は、戦時中若くして死んだ中島敦の名作で、漢文調のこの小説は、中国で秀才2人、最高難関といわれた科挙に合格したのに、一人は後世に残す名作をつくらうと辞退、思うようにならず、遂には悶々とした虎になったという話。昭和18年3月、私達は上級学校へ受験。中大専門部に私も含め4名合格。しかし、私はダボラ吹きの甘言に乗り辞退。「己を知る」鉄則を外した17歳だった。その後、野村、杉山は、会計士と弁護士になり、その名を業界にとどろかせた。しかし、よる年波、「一足先に行くよ」と杉山は5月に他界、野村は身動きできぬ体になっている。

私は悶々として月を仰いで嘆いている。

東実創立80周年の祝賀に、私は一作を案じ、清書し学校と同窓会へ寄贈。双方共に喜んでおられた。20年前に他界された鷹野先生は、「佐々木君、立派だよ。漢詩の好きな上野清先生も、きっと喜んでくださるよ」と言っておられないだろうか。

学友兩名科挙に任じ、刻苦精勵名声を上げ、聖人賢人病魔に斃(たお)れ、猛虎虚(ムナ)しく巨岩に吃哮す
二〇〇二年九月七日
佐々木 努 作

我生涯之山月記
学友兩名任科挙
刻苦精勵上名聲
聖人賢人斃病魔
猛虎虚咆哮巨岩

特集 創立80周年記念によせて

八十周年誌を手にして



第23期 (元教職員) 小島 浩

『日々生き生きと』東京実業高校80周年記念に発刊された写真集を頂きました。浅緑の布張りの表紙で手に取ると重く立派なものでした。静かに開いてみました。

上野塾理事長上野雅子先生の「学校の真の姿をご理解いただければ幸いです。」とありました。1ページずつ長い月日を読みました。第一章から第五章にまとめられ、その時代の歴史がよくわかる素晴らしい出来栄です。卒業生の私は古い懐かしい写真をよく集められたと感激しました。一葉の写真から、その時々の思い出が浮かんできます。上野熊蔵校長宅へ車でお迎えに行った事、病院へお見舞いに行った事等、声や仕事まで思い出はつづきます。上野幸一先生、井上稔先生の教育者の熱意を身

近に感じました。次ぎ次ぎとページをめくりながら、いつの時代になっても東実生の生き生きした顔があり、カラー写真になってから東実高校の成すべき学問、教育環境の整備、時代が求めるカリキュラムや職能の充実発展してゆく様を手取るように解かる、よく出来た写真集でした。私の東実生としての写真や、教職員となつてからの修学旅行の写真等あり、現在は同窓会等でお目にかかる方々もあり懐かしくお話をさせて頂いております。学校はじめ、記念誌の発刊に携わった大勢の皆様へ感謝し、ご苦労様でしたと申し上げたい。八十年誌は、私の宝物となるでしょう。

東実時代の回想

第20期 竹中 郁夫



昭和15年東京実業第一商業部に入学してからの学生生活を振り返って見ると戦時中の為、修学旅行は1年生の時に聖蹟桜ヶ丘へ日帰りで行っただけで2年生からは富士の裾野にあった、陸軍の演習場「板妻兵舎」へ、3年生の時は「滝が原兵舎」にそれぞれ2泊3日の軍事教練実習で、およそ修学旅行と言う楽しい思い出など全くなく、本当に苦しい訓練旅行でした。

4年生になると益々戦時色が強くなり学校での授業が中止となり、全員が学徒動員令により東京在住者は下丸子にあった「富士航空計器」神奈川県在住者は羽田にあった「日立航空」へ配属され、それぞれ航空計器や航空機の生産に従事することになり、当然ながら授業を受け勉強する日は全くなくなって、只々工場で働くという毎日、本来の学生生徒というには程遠い生活を強いられた時代でした。

当時の中学は5年生の学制でしたが、実際に学校で勉強したのは3年位しかなかったのではと思います。

昭和20年になると空襲が益々激しくなり自宅も焼夷弾の直撃を受け焼失し、母と小さい兄弟は石川県の郷里へ、小学生の弟は学童疎開で静岡へ、東京に残ったのは父と中学1年生の弟の3人だけとなり家族が「バラバラ」になってしまい、大変辛く苦しかった思い出として残って居ります。

終わりに母校の益々のご発展と同窓の皆様のご活躍をご期待申し上げます。

正しいメガネ・ファッション性あるメガネ
・医療器具でもあるメガネ。を高度の技術
でご調製しております。

株式会社 メガネの金正堂

〒231-0045
横浜市中区伊勢佐木町2-68
TEL(045)261-3418 FAX(045)261-3252
<http://www3.ocn.ne.jp/~kinshodo/>
E-mail:kinshodo@poem.ocn.ne.jp

上野熊蔵先生の思い出

第21期 河野 典男



上野（齊藤）熊蔵先生は明治大学を出て朝日新聞の記者とされました。同紙では、のちに日本の国土と呼ばれる中野正剛と同僚となり、親しく交わったとお聞きしています。その縁もあつたことでしょうか、社会を見る目を培われ、後に台湾拓殖会社に入り、鉄道建設に携わるなど国際的視野を持って国づくりに尽力されました。

私は知る由もありませんが、両親が京城にいた頃、隣家が中野正剛宅で、同年同月同日に両家に男子が生まれ一方が私の兄一英であったこと、後に父一三が上野先生と友人の交わりをするようになったことなど、くしき因縁というほかありません。

のちに先生は、高名な数学者で上野塾の創設者である上野清先生のご長女と結婚され、学校教育の道に入られました。このとき、私の父がお手伝いして目蒲線蒲田駅近くの現校舎に学舎を建設されたといい、以来、父と親しくお付き合いいただきました。

その縁が私にまで及び、先生は父に「息子は私が預かる」と言われ、紅顔の少年であった私は薫陶を受ける幸せに恵まれました。先生は、肚が太く奥深い懐で、大局を見る眼と行動力、そして人間の絆を大事にする人間教育を説かれました。創立80周年を迎える東京実業学校が、先生の優れた資質と人格によってつくられ、私たちが先生の警咳に直に接することができたのは本当に幸せでした。私にとって先生の存在は計り知れぬほど大きく、社会に出てまでも恩師として温かく見守っていただいた想いは尽きません。

みんなのオアシス 東京実業高等学校食堂



シダックスフードサービスは、
全国約200カ所の
オフィス、工場、学校、病院などに
1日40万食を提供している会社です。

シダックスフードサービス株式会社

〒163-1036 東京都新宿区西新宿3丁目7番1号
TEL:03-5908-1387 新宿パークタワー

ボルダーとの国際交流

千しき蔵 氏 氏

上野幸一校長先生が昭和35年に第1回日米親善高校レスリング団長として渡米された時から、本校の国際交流は始まりました。若者の継続した交流が両国親善と理解に役立ち、未来に大きな希望が持てると感じた校長先生は、37年に米国側親善レスリングチームの役員として来日した、コロラド州ボルダー高校のパッテン副校長と出会い、親交を深め、その後41年ボルダー高校と姉妹校の調印をして、翌42年に相互の学生の交換交流が開始されました。以来三十数年の間、数々のエピソードと思い出があると思いますが、ホワイトハウスから、この交流を讃えたメッセージが寄せられたこともあります。6月から始まる夏休みに来日した生徒達は、本校の授業に参加した後に京都・奈良、日光等を観たり、富士登山をしたり、見学先は各地に亘り、歌舞伎座、花嫁衣裳の着付け等、日本の歴史や伝統を体験して学び、宿泊はそれぞれの家庭にホームステイをして、日本の生活や風習を知り、和食を味わい、日本情緒と夏を楽しみつつ交流を深めました。私も何度か受入れましたが、生徒達は皆マナーが良く、知性と研究心に富み、種々の説明でも早く、茶道博物館、鎌倉等各地の案内をして、家族と打ち解け、僅かの滞在期間でも心の通いは深く、帰ったあと毎回寂しい感じでした。良い思い出が数多く残っています。

一方渡米した生徒達はデンバー空港に到着後は、ボルダーの関係者から、やさしい歓迎を受け、姉妹校訪問やテーマ毎の研修と交流で親善の実をあげ、ロッキーの山や、各地への旅で日本と違った風土、広大な土地や珍しい物を観て得るものが多かったと思います。先生方もご苦勞様でした。



第22期 遠藤 孝一 氏

昭和50年8月に上野校長ご夫妻、井上副校長、山川親師会会長（第19期卒）と共に12名でボルダーを訪れました。緑の多い開放的な庭と環境に家々が建ち、ボルダー高校PTAの家庭に分宿して、明るく心暖まる歓迎を受けました。私はその年、本校に来たマイク・ルカウの家のボルダーの郊外にある、別荘に宿泊して案内をされました。夕食後、家人が俳句「古池や蛙飛び込む水の音」の短冊を出し、その意味を尋ねられ知っている単語を並べて、どうやら分かってもらい冷や汗をかきつつの説明でした。身振り、手振りで意思を伝える珍道中でした。ボルダー高校は広々とした緑の中に立つ、レンガ作りの校舎と整った施設が印象的でした。スポーツを始めとした民間外交は、今後益々大事にしていきたいと感じます。



写真撮影・印刷

入学案内・ポスター・卒業アルバム

東京写真工芸株式会社

TEL.03-3303-3333

東京都世田谷区船橋6-1-2

スポーツのことなら！

しろかね

白銀スポーツ

ユニフォーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL(03)3754-8679 FAX(03)3754-4845

第37期 白銀 正明

80周年を迎えて



第34期 (体育科教員) 浅賀 英雄

東京実業高校は、雑草の精神を持って努力すると言われて
います。その雑草が80周年を迎えた昨年、大輪の花
を咲かせました。これは東京実業高校開校以来のできご
とです。それはインターハイの、走り高跳びに出場した、
陸上部の「佐野正人君」です。自己新記録の2m7cmを
跳び優勝したことです。インターハイで優勝、すごい！
懐かしく感じました。

昭和33年(1958年)東京実業高校レスリング部は創部
4年目にして、全国制覇、翌年も連続優勝の偉業をなし
とげました。あれから40数年の年月が過ぎました。

今後、何の種目で、何年先にインターハイ優勝という
ことがあるでしょうか。80周年を迎えて東京実業高校に
フェニックスが舞おりました。「佐野正人君」という、フ
ェニックスが2m7cmを跳びマットに舞おりました。「佐
野正人君」は東京実業高校にすごいエネルギーを注入し
てくれました。感謝！

私の東実時代



第48期 佐藤まり子

私の在学中、東実は50周年を迎えました。

当時の私は創立50年以来、初めての女子生徒会長とし
て生徒会活動を行っていました。一年生の時は生徒会会
計をやり、それから生徒会長と二年間の活動を通してい
ろいろなことを学びました。生徒と学校との間で様々な
視点から、ものを見ることの大切さや、多くの生徒たち
と団結することの重要性、自分達で学校行事を企画・運
営する楽しさを知りました。校内美化をスローガンにか
かげて全教室に花瓶を購入し花を飾ったり、学校内の花
壇の手入れをしたこと等、懐かしい思い出です。

昭和29年、私の生まれた年に女子商業科が設立され、
私が生徒会長の年に50周年で、私の中では東実と私は不
思議な糸で結ばれていたのかな？なんて思っています。

だけど、私よりも前の東実女子初の話を聞いたことが
あります。その頃、男子校だった東京実業高校に女子が
一人だけ通っていたこと。東実を卒業した男子の親の強
い希望で入学が叶い三年間通い続けた女の子。すごいと
思います。その人のお陰で女子商業科が設立されたとし
たら本当に素晴らしいことです。会ってみたいです、そ
の人に。私は今年卒業後30年ということになり、改めて
時の流れの速さを感じ入っています。

先日、創立80周年記念式典に出席させていただきました。
残念ながら同じ時代に机を並べた顔に会うことがで
きませんでした。三年間担任だった堀博子先生にお会
いすることができました。今は家庭に入られているとの
ことでしたが、卒業後10年目頃に行なったクラス会以来
だったので感激しました。また、今年は同窓生として初
めて文化祭に参加し、現役女子生徒の隣の売場で「どら
焼き」の販売をしながら、そうそう、あの辺りの教室で
フォークソング喫茶みたいなことやってたし、インター
アクトクラブはバザー開いてた。茶会もあった。なんて
思い出し。だんだん記憶が戻ってくる。体育祭は御園中
の校庭で、女子全員で詩吟舞踊やったんだっけ……
学生生活すべてを素晴らしい思い出にしてくれた東実が
私は大好きです。

新しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

代表取締役 佐々木 努

〒146-0095 東京都大田区多摩川1-18-15
TEL (03)3758-0710 FAX (03)3758-2821

第15回蛍窓会 佐々木 努

木造住宅耐震補強工事
建築・土木防水工事
リフォーム工事

渡辺商会 知事許可 (般-9)第5472号

渡邊 正信

2級建築施工管理技士

〒235-0023 横浜市磯子区森6丁目11番20号
TEL.(045)761-3010 (代) FAX(045)761-9570

第37回五葉会 渡邊 正信

学校内で23期 同期会を開催



第23期 塩野 理二

23期の平成14年度の同期会は、(参加者22名)6月22日母校を第一会場にして開催した。当日正門内の校庭に参集した一同は、小島浩氏の誘導で、先ず視聴覚室に入り、上野毅校長から、母校の近況についてお話を頂き、そしてビデオの放映(約15分間)による学校案内に、母校の充実振りを目の辺りにした。その後、校長先生の先導により、校内のご案内を頂いたが、最後に体育館に歩みを進めた一同は、全ての内容の素晴らしさに感動した。

震災で焼失した母校校舎は、先ず新潟鉄工所内に仮校舎を設けた。その第一期生であった一同は、今日の姿にふれた時、半世紀にわたる、東京実業の再興への道の、学校関係者諸氏の、並々ならぬご努力に、敬意の思いを夫々の胸一杯にした。引続き、会場を「がんこ」(蒲田駅近く)に移し、上野雅子理事長、上野毅校長先生を囲んで、有意義なひとときを過ごした。

会員通信欄

「卒業生が持って来たお話し」

この度、森勇太君(平成12年機械科卒)が本校にとって素晴らしい話しを持って来たので紹介したいと思います。

彼は本校の交換留学生としてコロラドのボルダーへ渡米したことが契機となり、一年間英語学校に通学した後、TOFLEの留学試験に合格し、平成13年9月コロラド州のレッドロックス・コミュニティカレッジに入学しました。その後、彼は大学で努力研鑽を重ね、レッドロックス・コミュニティカレッジ主催のスピーチコンテストで優勝し、その実力が認められ飛び級(学年を越えて進級できる制度)を果し、次年度はコロラド大学の3学年に編入することになりました。更に、彼には奨学金までも授与され、授業料は免除されたも同然となったのです。スピーチコンテスト参加者は多数が米国人であり、その中であって英語で考え、弁論したのですからまさに称賛に値するものであると感心しています。

その彼が今年の正月明けに来校して、本校とレッドロックス・コミュニティカレッジとの提携の話しを持って来ました。

ここで重要なことは、森君が本校の名を高め、「森君が卒業した高校だから優秀な学生がいるに違いない。」と理解されたことです。そして、大学と本校との提携の話し

を持ちかけられたことです。このことは大変名誉なことであり、現在森君を介して話しを進めています。

彼の在学中の学生生活は礼儀正しく真面目で、毎朝早く登校し、校門ではいつも愛敬ある笑顔で私と挨拶を交わしていました。勉強は勿論ですが、部活にも熱心でサイクリング部で活躍し、東実祭では展示等で他の部員と遅くまで頑張っている姿が思い出されます。

「信念岩をも通す」と言いますが、地道に努力邁進すれば好結果を生むものであると改めて生徒諸君に伝えたいと思います。

尚、同年代にボルダーに留学した荒井吉一君も現在ニューヨークで活躍中である旨ご報告させていただきます。他にも多数の卒業生がそれぞれの道で活躍しているのですが、その全てがご報告できないことを残念に思っています。また、機会があれば報告させていただきます。

(学校長)

訃報

| | | | |
|-----|-----|----|----------|
| 38期 | 鈴木 | 幸夫 | H13.7.13 |
| 60期 | 石黒 | 大智 | H13.7.21 |
| 31期 | 西山 | 淳一 | H8.10. |
| 20期 | 田口 | 豊 | H14.4. |
| 75期 | 桑原 | 伯和 | H14.2.10 |
| 17期 | 佐々木 | 努 | H15.1.20 |

祝80周年 42期卒 一同

事務局だより

事務引継ぎについて

第37期（元同窓会事務局）

米田 仁昌



長期に亘り皆様にお世話になりました。故上野幸一校長、故井上稔副校長（後に校長）の命により、大先輩である故鷹野宗太郎先生（本校第1期生）より、同窓会の事務を引き継いだのは、考えてみれば35年も前になります。今日の同窓会がこのようにあるのは、村松会長（現顧問）井上副会長（現相談役）本田副会長（現会長代行）等、絶大なる努力の賜物に他なりません。

小生は、勝れた諸先生方、異業種でご活躍されている立派な卒業生の皆様方のご協力に助けられ、学ぶ事も多く、ようやく事務局の業務も終え無事定年を迎える事が出来、感謝の念で一杯です。有り難うございました。

さて、小生の後任は第41期卒の米倉美鈴氏が若い感覚とパワーで、事務を引き継いで下さいます。よろしくお願ひ致します。

新しくスタートする同窓会よ。益々盛会に！

・・・同窓会行事に参加を・・・

定期総会（6月）懇親旅行（9月）新年会（1月）の同窓会行事は毎年同時期に行う予定です。どなたでも参加出来ますので、是非お友達に声を掛けて気軽にご参加下さい。事務局にお電話等でお尋ね下されば、その時期に案内状を送付致します。意外な人と出会うかも知れません。皆様方多数のご参加をお待ちしております。

・・・ご注意を・・・

同窓会と称して紛らわしい電話等で本人の留守中、家庭に「只今、同窓会で名簿を作成中ですのでご寄付を」と言ってくる業者がいる旨の苦情の連絡が事務局に入ってきました。これらは一切事務局とは関係ありません。

不審と思われる時は、次のような対応をしてください。

- ①家族の者には、自分に対応するから先方の連絡先を聞いてもらい、必要以上に応じない。
- ②重複しますが・・・発信元の確認（住所・電話・担当者名）。金銭にからんだ時は即答せず充分納得してからにする。学校に問合せるのも可

もし、このようなことがありましたら、相手方の連絡先を事務局に通報して下さい。事務局も大迷惑をしています。お互いに連絡を取り合って被害を防ぎましょう。

＝ 平成15年度 定期総会のお知らせ ＝

日時 平成15年6月7日（土）PM3:00～5:00

場所 母校 小ホール

会費 懇親会費 3,000円

是非ご出席下さい。

常任幹事を募集しています

皆さんの中で、何か同窓会にお手伝いして下さる方が居りましたら、是非、ご協力ください。

常任幹事の仕事は、2ヶ月に1回位平日の夜、集まり、同窓会行事等の打合せを行ったり、又諸行事へ積極的に参加する事等です。

同窓会の輪を広げる為にも貴殿の力を、お貸しください。連絡先は、同窓会事務局へ、電話、ファックス、ハガキ等でご一報ください。よろしく。

Tel 03-3732-4481 Fax 03-3732-4456

編 集 後 記

創立80周年記念号の発行にあたり、ご愛読に感謝申し上げます。今回から従来のB5版をA4版に改め文字の大きさを変えて読み易くしました。広告掲載企業には、一部原稿の到着が遅れた為、ページのレイアウトが決められず、急なお願いをし、ご協力いただいた企業もありました。また、学校側のご協力が大きな支えになって、発行日に間に合うことが出来ました。有難うございました。今後も会報担当一同は、内容のマンネリ化を避け、新しいスタイルで、会員に親しまれるような会報を作らなければと考えています。情報や投稿をお待ちします。会員の皆様のご活躍をご祈念いたします。

発行総務委員・運営委員（会報担当）

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 委員長 | 臼田 佳彦 | 協力者 | 志賀 由直 |
| 委員 | 遠藤 孝一 | " | 滝口 房枝 |
| " | 加藤 憲治 | " | 本田位公子 |
| " | 塩野 理二 | | |
| " | 吉村 和重 | 事務局 | 米倉 美鈴 |